

環境報告書 2018



平成29年4月～平成30年3月

昭島市清掃センター

目 次

第1章 事業概要 1

1-1 施設のあらまし ----- 2

1-2 私たちの組織 ----- 3

第2章 私たちの環境への取組 4

2-1 環境方針 ----- 5

2-2 活動と物質収支 ----- 6

2-3 廃棄物処理における環境対策 ----- 7

2-4 再資源化の推進 ----- 8

2-5 環境負荷を減らす取組 ----- 9

2-6 環境活動 ----- 9

2-7 安全衛生などの取組 ----- 9

第3章 コミュニケーション 10

3-1 環境情報の公開 ----- 11

3-2 施設の見学 ----- 11

3-3 社会的活動 ----- 11

3-4 事業のあゆみ ----- 12

巻末資料

- ・ 資料 搬入ごみ・エネルギー消費
搬出物・ごみの分析
- ・ 案内図・連絡先

第1章 事業概要



- 1 施設のあらまし
- 2 私たちの組織

1-1 施設のあらまし

所在地等

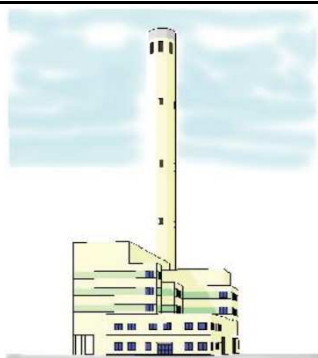
施設名称	昭島市清掃センター
所在地	〒196-0014 昭島市田中町四丁目3番14号
電話番号	042-541-1342
FAX番号	042-541-4560
敷地面積	11,531 m ²

施設概要

昭島市清掃センター（以下「本センター」という。）は、一般廃棄物処理施設として、市内の家庭及び小規模事業所から出される一般可燃ごみを焼却処理しています。

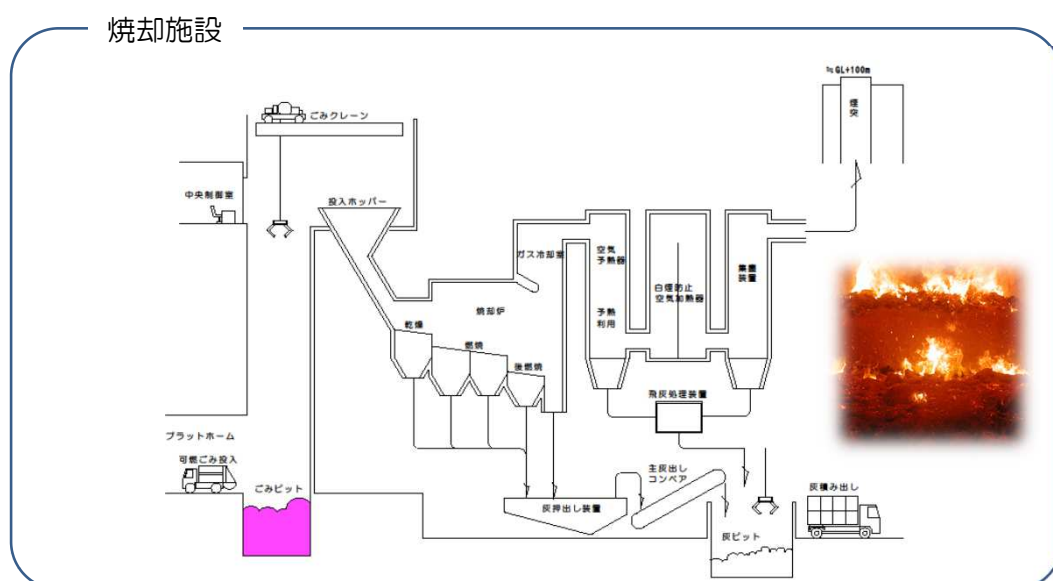
その他、「不燃ごみ」、「プラスチック」、「資源」、「粗大ごみ」等は、平成23年4月から稼働を始めた環境コミュニケーションセンターで破砕処理、分別を行い資源化を行っています。

焼却施設



型式	全連続燃焼式ストーカ式	
処理能力	95ト/日×2炉	190ト/日
竣工	1号炉 平成6年6月	2号炉 平成7年10月

処理の概要



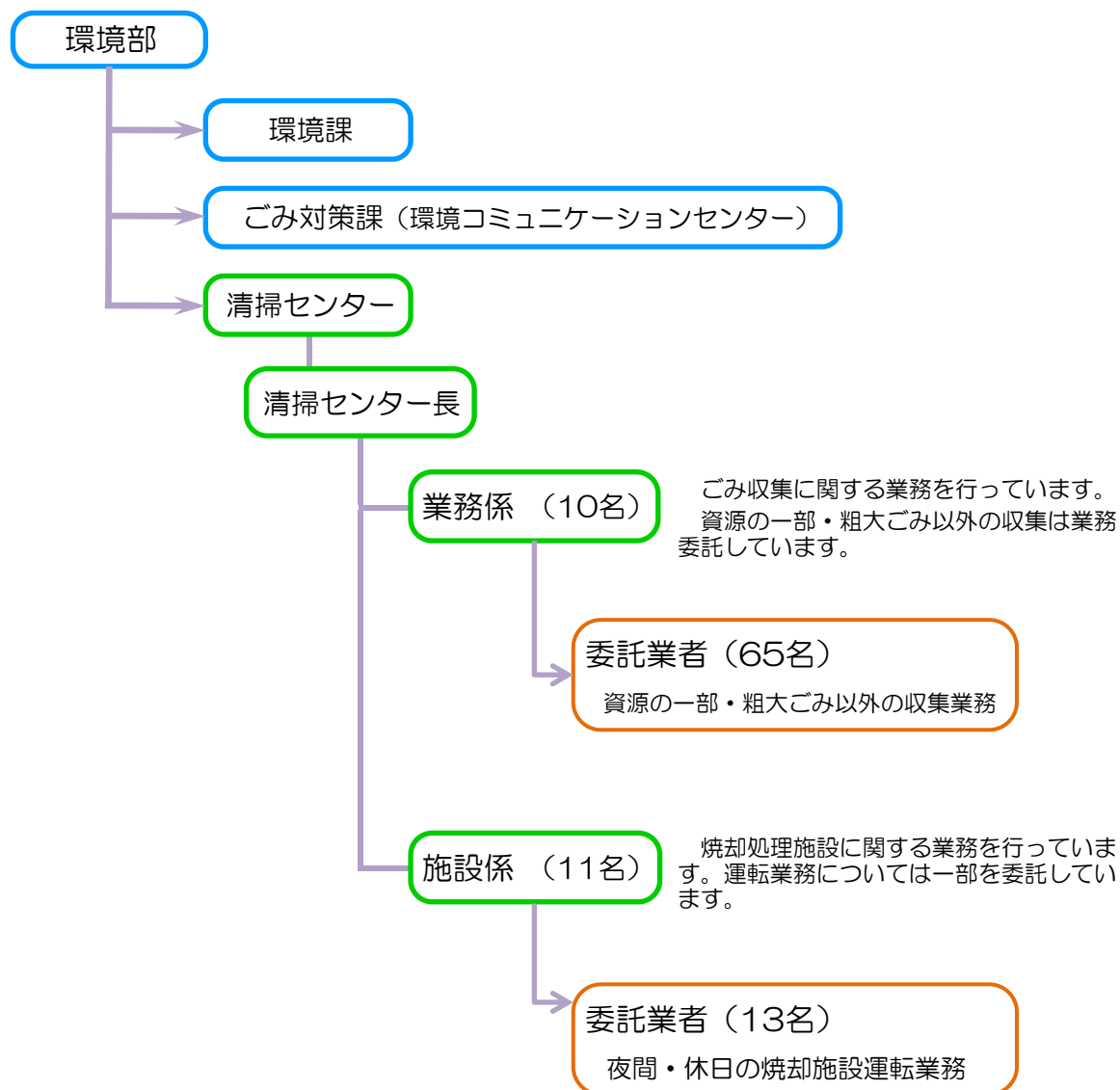
1-2 私たちの組織

本センターでは、市内の家庭ごみの収集、一般廃棄物収集運搬許可業者の可燃ごみの受入れ及び可燃ごみの焼却処理を職員と委託業者により行っています。

その他、不燃ごみ、プラスチック、資源、粗大ごみ、市民の方のごみの持ち込みは、環境コミュニケーションセンターで処理しています。

清掃センターの組織

職員 22名 委託業者従業員 78名



第2章 私たちの環境への取組



- 1 環境方針
- 2 活動と物質収支
- 3 廃棄物処理における環境対策
- 4 再資源化の推進
- 5 環境負荷を減らす取組
- 6 環境活動
- 7 安全衛生などの取組

2-1 環境方針

昭島市は、平成25年9月25日をもってISO14001認証を解除し、平成26年4月からはISO14001規格を踏まえた昭島市環境マネジメントシステムの運用を開始しました。平成29年度においては、平成30年3月1日から環境方針を改定し、取組の推進を図っています。

1 基本理念

昭島市は、多摩川や地下水に象徴される豊かな自然の恵みを受けています。

一方、私たちの社会活動による自然環境への負荷が今日の深刻な問題となっています。

こうした環境問題に積極的に取り組むため、「美しい水と緑を将来の世代に」を望ましい環境像とし、人と自然が共生して、環境への負荷の少ない持続可能なまちづくりを目指します。

その具体的な足がかりとして、昭島市は、環境マネジメントシステムを基本的なしくみに位置付け、事務事業における環境への配慮を進めるとともに、全職員及び市域全体が一体となりオール昭島として環境に配慮した取り組みを推進していきます。

そのため、基本方針を次のとおり定めます。



2 基本方針

(1) 水と自然を大切にします

地下水、崖線、動植物などの自然環境を大切にします。

(2) 緑とふれあう文化のまちにします

緑を守り育て、まちの文化としてもとらえて保全していきます。

(3) 健康な暮らしを守ります

環境汚染の防止に努め、生活環境を保全します。

(4) 地球にかかる負担を少なくします

省エネルギー、創エネルギー、省資源・リサイクル、ごみ減量を推進し、地球温暖化対策に取り組み、持続可能な社会の実現を目指します。

(5) 環境を学びみんなで取り組みます

市民や事業者ならびに他市と連携し、環境を大切にする人づくりや活動を推進します。

以上の取組については、環境保全に関する法令や約束を遵守し、環境目的・目標を定め、環境マネジメントシステムの定期的な見直しにより、継続的な改善を進めます。



2-2 活動と物質収支

平成29年度の物質収支

本センターにおける平成29年度の一般廃棄物の処理に伴う搬入と搬出及び燃料などの収支は、以下のとおりです。

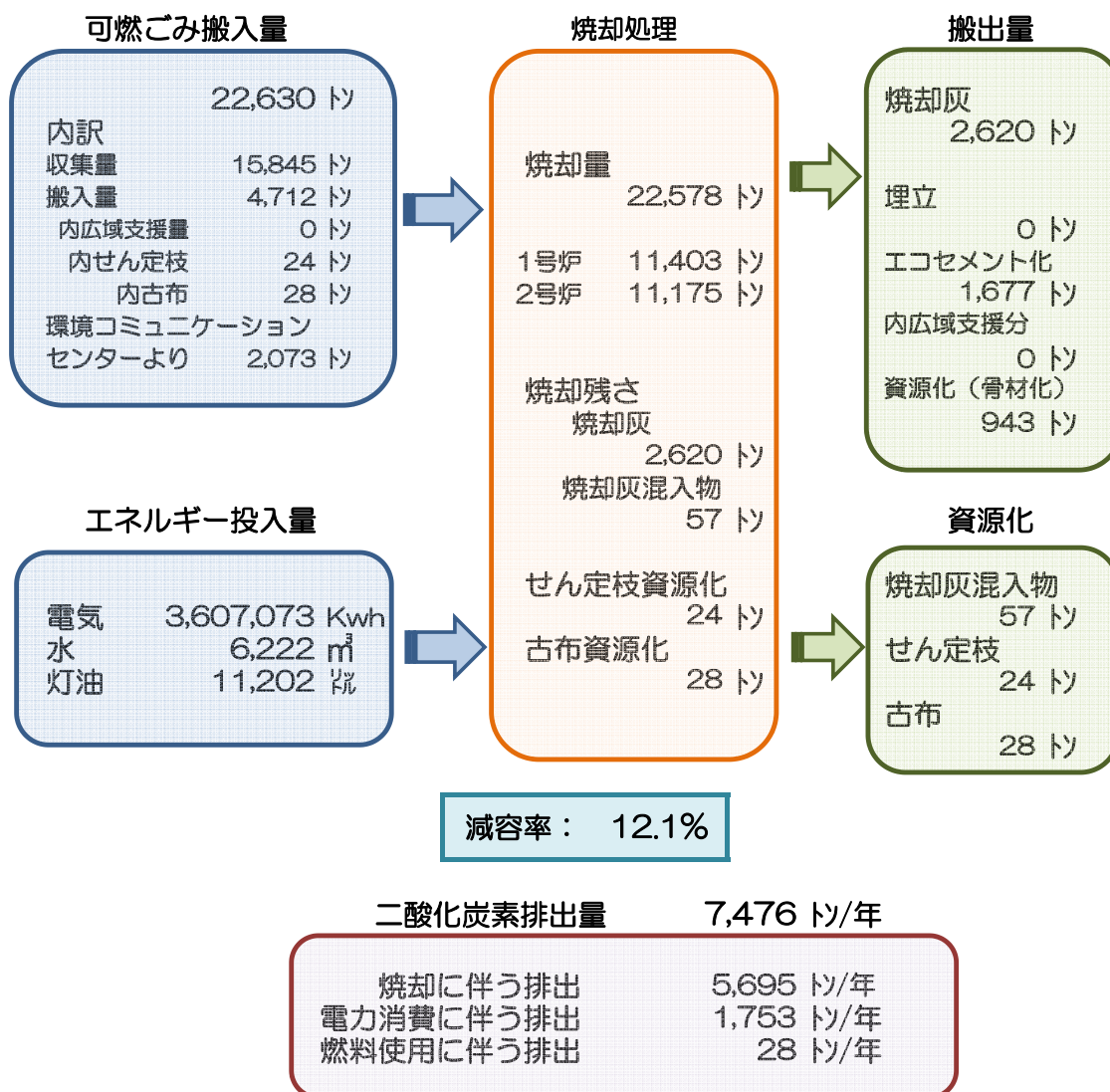
焼却に必要な水は、地下水及び場内で使用した水を排水処理し、使用しています。

なお、平成23年4月から環境コミュニケーションセンターの稼働に伴い、本センターでは、可燃ごみの収集、許可業者の搬入・受入及び可燃物の焼却処理を行っています。焼却灰については、セメント原料等へ資源化しています。

その他の不燃ごみ、資源等は環境コミュニケーションセンターで選別・処理及び資源化を行っております。

また、本センターの事業活動に伴う地球温暖化ガス（CO₂）排出は、次のとおりとなっています。

物質収支フロー図 [単位：ト]



2-3 廃棄物処理における環境対策

本センターの業務における環境対策としては、排出されたごみの資源化を推進することによる焼却量の削減、収集車両に環境にやさしい天然ガス車の導入、そして、廃棄物の焼却に伴い発生する燃焼ガス中の有害物質対策を講じる等、環境負荷の低減化を図ることが主なものとなります。

具体的には、有害物質の発生を抑える焼却炉の運転を行い、発生する有害物質を取り除いています。本センターでは、これらの対策を行うことにより、焼却施設として国などで定められている基準を満たして運転しています。

現在稼働中の焼却炉は、建設時から高性能な集じん装置を設置しております。併せて、ダイオキシン類の発生を抑える方法で運転を行い、有害物質の排出量などを基準内にしています。

また、本センターは、多摩川の河川敷に設置されていますが、本センター内で使用した水は、排水処理施設で処理された後、焼却施設の冷却などに全てを使用し、河川への放流は行っていません。

排ガス中の有害物質

本センターでは、有害物質（窒素酸化物、いおう酸化物、塩化水素及びばいじん）の常時監視を行う中で、できるだけ有害物質の排出量が少なくなるように運転しています。

そのほかに、定期的に排出ガスを採取し、法律で定められた方法で分析を行っています。

以下に、その数値を報告します。

	規制値	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
ばいじん [g/Nm ³]	0.15	0.003以下	0.003以下	0.004以下	0.004以下
いおう酸化物 [Nm ³ /h]	100	0.29	0.16	0.08	0.08以下
窒素酸化物 [ppm]	250	61	100	58	62
塩化水素 [ppm]	430	23	26	26	3

※数値は各年の最後の分析結果を使用しています。

排出物中のダイオキシン類濃度

廃棄物処理施設に適用される法律により、排出されるダイオキシン類の測定が6か月ごとに義務付けられており、本センターでも定期的実施しています。

以下に、その数値を報告いたします。

	規制値	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
排出ガス [ng-TEQ/m ³ N]	5	0.00030	0.00620	0.00470	0.00025
焼却灰 [ng-TEQ/g]	3	0.002300	0.000160	0.000002	0.000780
ばいじん [ng-TEQ/g]	3	0.26	0.47	0.45	0.69

※数値は各年の最後の分析結果を使用しています。

2-4 再資源化の推進

昭島市では、平成23年4月から環境コミュニケーションセンターが新たに稼働を開始し、可燃ごみ以外のごみ、資源の分別、破碎処理を行い資源化の推進を行っています。

本センターでは、環境コミュニケーションセンターの稼働に伴い、平成23年4月より可燃ごみの焼却処理のみを行っていますが、焼却処理に伴う焼却灰、ばいじんは日の出町のエコセメント化施設及び骨材化施設へ搬入し資源化を行っています。

また、焼却灰混入物（鉄類）及びせん定枝についても分別し、資源化を図っています。



資源化率の推移

ごみの資源化を推進した結果を表す資源化率という数値があります。これについては、具体的な数値基準がないため、三多摩の平均値を併記してその値とします。以下に、その数値を報告します。

（数値は、環境コミュニケーションセンターでの処理分も含みます。）

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
資源化率（％）					
昭島市	32.8	33.0	33.3	34.0	34.0
三多摩平均	32.9	33.0	32.9	32.8	32.7
総資源化率（％）					
昭島市	35.9	36.1	36.4	37.1	37.1
三多摩平均	37.4	37.6	37.5	37.6	37.5

※三多摩平均は「多摩地域ごみ実態調査」公表値

資源化率と総資源化率

資源化率は、資源及び収集ごみから資源化した割合です。

総資源化率は、資源化率の計算の際に集団回収による資源の回収量を含めて計算した値です。

$$\text{資源化率} = \frac{\text{資源からの資源化量} + \text{収集ごみからの資源化量}}{\text{総ごみ量}}$$

$$\text{総資源化率} = \frac{\text{資源からの資源化量} + \text{収集ごみからの資源化量} + \text{集団回収量}}{\text{総ごみ量} + \text{集団回収量}}$$

2-5 環境負荷を減らす取組

本センターでは、プラスチック等の分別収集により、焼却などの環境に負荷をかける処理量を減らすことに努めています。

更に、二酸化炭素等の削減のために天然ガスを燃料とする収集車両を使用し、環境負荷の低減に努めています。

また、焼却施設の効率的な運用を図るため、適切な焼却時間を確保したうえで施設の運転時間の短縮に努めています。



収集車両の天然ガス転換率と焼却炉運転時間

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
焼却炉 運転時間（時間）	7,914	8,438	8,255	8,184	8,452
天然ガスへの 転換率（％）	71.4	71.4	85.7	100.0	100.0

※転換率は年度末の数値

※転換率は CNG車両／保有車両数

※平成29年度現在、保有車両7台のうち2台が災害時等を考慮したディーゼル車となっています。

2-6 環境活動

本センター内の環境整備の一環として、施設内の緑化に努めています。

本センターへの搬入道路は、多摩川河川敷へのアプローチとなっていることから、多摩川の散策に気持ち良く利用していただけるように、道路清掃を行っています。

また、定期的の実施される多摩川一斉清掃や市内のクリーン運動にも参加し、周辺環境と市内の美化に努めています。



2-7 安全衛生などの取組

本センターでは、昭島市清掃事業場安全衛生委員会を設置し、月1回、現場の声に耳を傾けながら、安全・健康・快適な職場作りを目指した活動を行っています。

第3章 コミュニケーション



主な記事

8月4日・5日は昭島市民くじら祭——
組合オンブズパーソン制度——
平成29年度 情報公開制度、個人情報保
護制度の運用状況——
ジカ熱・デング熱の感染に注意——

平成30年
(2018年) No.1136
Akishima



- 1 環境情報の公開
- 2 施設見学
- 3 社会的活動
- 4 事業のあゆみ

3-1 環境情報の公開

廃棄物問題に興味のある方、大学などで研究用資料として必要な方々からの資料要求に対し、本センターでは、廃棄物の焼却状況の測定結果などを整理・保管して、ご要望に応じ提供しています。

その他、定期的に東京都へ一般廃棄物処理施設に関する数値を報告しています。報告した数値などは、東京都のホームページなどで公表されています。

また、その情報の一部を本市のホームページ及びこの「環境報告書」に掲載しています。

3-2 施設の見学

毎年、市内の小学生をはじめ、自治会、各種団体など多くの方が施設見学に訪れています。

また、大学生・高校生などが研究のために施設見学に訪れるなど、本センターでは、ご希望に応じて施設見学を行っています。

※平成29年度は、10団体 641名の方が見学に訪れました。



3-3 社会的活動

市内のごみ収集のために、多くの車両が市内を走行しています。その収集車に各種のマグネットシートを貼り、業務と併せて市民の安全・安心パトロールを行っています。

また、一人暮らしの高齢者世帯の緊急時の支援体制として「高齢者ふれあいネットワーク」にも参加しています。

加えて、全職員が「救命講習」を受講することで、いつでも災害等に遭遇した場合に役立つことができる体制を整えています。

本市以外の地域で災害が発生した際には、災害復旧の応援に専門技能を生かして参加する場合があります。



3-4 事業のあゆみ

年	月	出来事
昭和28年	12月	清掃法施行　ごみ収集始まる
昭和32年	12月	清掃施設の都市計画決定
昭和33年	4月	焼却能力7.5ト/日の固定炉完成
昭和36年	1月	焼却能力7.5ト/日の固定炉完成　合計処理能力15ト/日となる
昭和38年	8月	収集車両による収集開始
昭和41年	3月	焼却能力15ト/日の固定炉完成　合計処理能力30ト/日となる
昭和44年	8月	焼却能力25ト/8Hの准連続炉完成　16時間運転を開始
昭和46年	6月	焼却能力75ト/日　焼却炉完成
昭和49年	3月	粗大ごみ処理施設完成　50ト/5H
昭和54年	2月	焼却能力90ト/日　3号炉完成　固定炉の運転終了
平成3年	10月	新炉建設に着手
平成5年	2月	仮施設での資源選別開始
平成6年	4月	焼却能力95ト/日　新炉（1号炉）完成　運転開始
平成6年	5月	旧炉　運転終了
平成6年	7月	施設名称を「清掃センター」に変更
平成7年	9月	焼却能力95ト/日　新炉（2号炉）完成　運転開始
平成8年	10月	旧炉を解体
平成10年	4月	三多摩地域廃棄物広域処分組合谷戸沢処分場から二ツ塚処分場に移し開場
平成12年	2月	ごみの7分別収集開始　プラスチック分別収集開始
平成14年	4月	家庭ごみ収集の有料化
平成16年	3月	集じん機（バグフィルター）整備工事完了
平成16年	4月	料金改定（事業系持込30円/kg）
平成16年	4月	せん定枝の資源化委託を開始
平成16年	10月	市内全域で戸別収集を開始
平成18年	7月	焼却灰のエコセメント化事業開始
平成20年		焼却施設延命化に向けた修繕を開始
平成21年	12月	環境コミュニケーションセンター　建設着手
平成21年		焼却施設延命化に向けた焼却制御装置更新
平成22年		焼却施設延命化修繕実施（防衛省調整交付金充当）
平成23年	4月	環境コミュニケーションセンター　稼働開始
平成23年		焼却施設延命化修繕実施（防衛省調整交付金充当）
平成24年		焼却施設延命化修繕実施（防衛省調整交付金充当）
平成25年	4月	使用済み小型家電製品の拠点回収を開始
平成25年		焼却施設精密機能検査実施（防衛省調整交付金充当）
平成26年		焼却施設延命化修繕実施（防衛省調整交付金充当）
平成27年		焼却施設延命化修繕実施
平成27年		災害時等を考慮し収集車1台をディーゼル車に買換え
平成28年		焼却施設延命化修繕実施
平成28年		災害時等を考慮し収集車1台をディーゼル車に買換え
平成29年	6月	ごみ分別アプリの配信開始
平成29年	9月	古着・古布を市内7施設で拠点回収開始
平成29年	9月	インクカートリッジを市内18施設で拠点回収開始

資料



資料-1 搬入ごみ
エネルギー消費

資料-2 搬出物

資料-3 ごみの分析

案内図

搬入ごみ（環境コミュニケーションセンター分含む）

市内の家庭から排出されるごみや市内の事業所が排出する一般ごみなどは、収集車で集められ、可燃ごみは本センターへ搬入されます。その他のごみや資源は、環境コミュニケーションセンターへ搬入されて処理が行われています。更に、平成29年9月から古着・古布を市内の7施設、使用済みインクカートリッジを市内の18施設で回収を始めました。

また、平成19年度から平成28年度まで多摩地域ごみ処理広域支援体制実施要綱に基づく広域支援を行いました。

以下に、関係する数値を報告します。

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
人口	113,010	112,852	112,881	112,647	113,092
可燃ごみ	20,557	23,188	23,366	23,276	23,934
不燃ごみ	1,280	1,371	1,434	1,376	1,554
プラスチック	1,755	1,818	1,783	1,832	1,818
資源	1,615	1,643	1,678	1,672	1,704
古紙	3,036	3,075	3,274	3,274	3,380
有害ごみ	42	43	45	44	50
粗大ごみ	1,027	1,040	968	915	907
古布	28				
小型家電	0.5	0.4	0.3	0.2	0.5
ごみ量の変化 (平成25年度を100として)	93	102	103	103	100

※人口は各年の10月1日の数値を使用しています。

※ごみ量には直接搬入量及び広域支援量を含んでいます。

※ごみ量の変化の値については、市内で発生したごみを対象とするため、広域支援による量は含んでいません。

エネルギー消費（清掃センター分）

ごみ処理には多量のエネルギーを必要とします。本センターでは、せん定枝の資源化等による焼却量の削減、古紙の排出指導など、ごみの減量に努めることによりエネルギー投入量の削減に努めています。

以下に、その数値を報告します。

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
電力 (Mwh)	3,607	3,728	3,826	3,853	3,903
上水道 (m³)	6,222	5,972	5,618	5,733	6,433
地下水 (m³)	39,120	41,546	40,338	40,800	42,172
灯油 (ℓ)	11,202	8,866	8,590	8,858	6,600
可燃ごみ1トン当たり					
電力 (Kwh)	160	148	150	153	150
上水道 (m³)	276	237	221	228	247
地下水 (m³)	1,733	1,647	1,584	1,623	1,619
灯油 (ℓ)	0.50	0.35	0.34	0.35	0.25

搬出物

本センターに搬入されたごみは、焼却を行い、焼却により生じた灰は、主に日の出町の二ツ塚処分場内の平成18年7月に稼働を開始したエコセメント化施設等で資源化されています。

また、焼却灰に混入した鉄類は、磁選機により取り除き、資源化しています。

なお、その他のごみや資源については、環境コミュニケーションセンターで破碎などの選別・処理のうえ資源化しています。

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
焼却対象物	22,578	25,220	25,465	25,135	26,050
焼却灰	2,620	2,920	2,938	3,016	3,245
エコセメント化	1,677	1,907	2,047	2,209	2,089
骨材化	943	1,013	890	807	1,156
焼却灰混入物	57	60	59	59	62

※エコセメント化には、広域支援分を含んでいます。

粗大ごみ

本センターでは、通常の収集で収集できない粗大ごみについては、個別の申し込みにより収集しています。

収集した粗大ごみは、環境コミュニケーションセンターで分別処理し、十分使用できるものについては修理、清掃を行い、マンスリーフリーマーケット開催時にリサイクル品として市民の方に無料で提供しています。

なお、参考までに粗大ごみに関する数値を報告いたします。

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
取扱総数（件）	16,478	18,365	16,834	17,742	19,016
重量（ト）	1,027	1,040	968	915	907
取扱い数1位	いす	いす	いす	いす	いす
取扱い数2位	布団	本棚	本棚	本棚	ふとん
取扱い数3位	本棚	布団	ふとん	ふとん	本棚
取扱い数4位	自転車	たんす	自転車	衣装箱	たんす
取扱い数5位	応接いす	自転車	衣装箱	たんす	自転車

ごみの分析

本センターでは、どのようなごみが収集されてきているかを定期的に調べています。
下表にその結果を報告します。

なお、平成23年4月から環境コミュニケーションセンターが新たに稼働を開始し、清掃センターでは可燃ごみの処理のみとなったため、可燃ごみの組成分析を行い、その他のごみ、資源については環境コミュニケーションセンターで行っています。

※各数値については各年、平均の分析結果です。

可燃ごみ

[単位：重量%]		平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
【可燃物】						
紙・布		58.0	54.4	47.8	57.7	46.5
合成樹脂		11.7	13.7	20.2	15.2	16.2
ゴム・皮革		0.0	0.5	0.6	0.9	0.5
木・竹・わら		16.8	18.7	16.1	9.7	19.2
厨芥		10.8	9.5	12.8	12.3	13.4
その他		1.0	2.2	1.4	2.4	2.9
【不燃物】						
不燃物		1.7	1.0	1.1	1.8	1.3
【理化学的性状】						
単位容積重量	kg/m ³	168.0	162.0	166.0	192.0	152.0
水分	%	46.4	42.8	48.1	46.4	42.8
灰分	%	5.8	5.5	5.2	5.6	6.1
可燃分	%	47.7	51.6	46.7	48.0	51.2
低位発熱量（計算）	kcal/kg	1,870	2,067	1,814	1,884	2,045
低位発熱量（実測）	kcal/kg	1,945	2,183	2,005	2,009	2,193
【元素】						
炭素	%	24.06	25.63	24.31	26.14	26.43
水素	%	3.31	3.66	3.50	3.58	3.80
窒素	%	0.38	0.67	0.66	0.42	0.92
硫黄	%	0.02	0.03	0.05	0.02	0.05
塩素	%	0.33	0.56	0.51	0.53	0.73
酸素	%	19.62	21.65	19.10	20.56	20.81

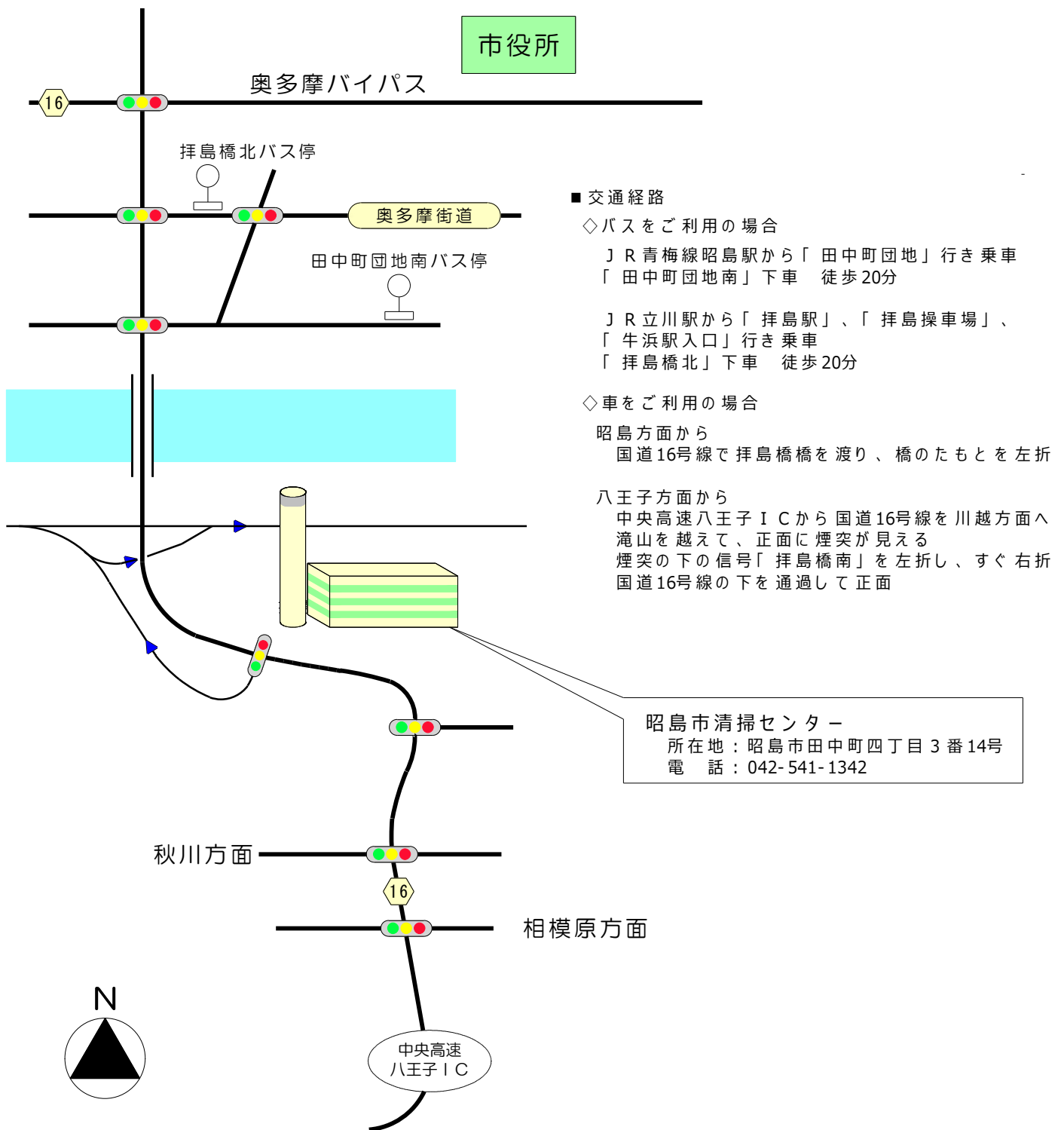
※ 可燃ごみの組成分析（乾ベース）については、ごみピット内のごみを均一化し、焼却炉に投入するごみの組成を分析しています。

搬入可燃ごみ

〔単位：重量％〕	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
【紙類】					
リサイクルが可能なもの	7.6	7.8	8.5	9.2	12.3
リサイクルが適さないもの	20.5	8.3	28.3	19.7	24.8
【布類】					
リサイクルが可能なもの	6.0	5.2	6.5	8.0	2.7
リサイクルが適さないもの	1.8	6.9	4.1	4.7	2.3
【合成樹脂類】					
ごみ袋	1.3	2.2	1.0	1.1	0.9
ごみ袋以外のもの	5.9	7.0	10.5	8.1	8.2
【ゴム・皮革】	0.2	0.3	0.3	0.3	0.8
【木・竹・わら類】					
せん定枝	4.7	0.4	1.3	0.0	3.8
せん定枝以外のもの	11.7	10.0	6.8	5.8	5.7
【厨芥類】	33.7	41.2	30.1	38.9	34.4
【その他可燃物】	3.7	10.5	2.3	3.8	3.4
【金属類】	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2
【ガラス類】	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2
【土砂・陶磁器類】	2.7	0.0	0.1	0.1	0.2
【その他不燃物】	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1
単位容積重量 kg/m ³	142	143	145	155	129

※ 搬入可燃ごみの組成分析（湿ベース）については、平成22年度より実施しています。

案内図



本書に関するお問い合わせは下記までお願いします。

名 称 昭島市清掃センター
所在地 〒196-0014 昭島市田中町四丁目3番14号
電 話 042-541-1342
F A X 042-541-4560
E-mail seisocenter@city.akishima.lg.jp

発 行 昭島市
編 集 昭島市環境部清掃センター